

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2006～2008

課題番号：18730565

研究課題名 (和文) 自閉症児のための仲間を仲介とした療育方法に関する研究

研究課題名 (英文) Peer-mediated Intervention for Young Children with Autism Spectrum Disorders

研究代表者

竹澤 大史 (TAKEZAWA TAISHI)

愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所・教育福祉学部・研究員

研究成果の概要：

保育園に通う自閉症スペクトラム障害のある幼児（以下、ASD 児）を対象に、対人・コミュニケーションの発達支援方法の一つである仲間を介した療育方法（Peer-Mediated Intervention）を実施し、その効果を検証した。ASD 児と同じクラスの定型発達児に対人・コミュニケーションスキルを指導し、自由遊び時間にそれらのスキルを使用して ASD 児と関わるよう指示した。定型発達児の社会的行動の増加に伴い、ASD 児の反応行動だけでなく自発的な社会的行動も増加する傾向がみられた。保育園の自由遊び時間のような比較的制約の少ない環境において、幼児期の ASD 児の仲間との社会的行動を促進する上で、仲間を介した療育方法が有効である可能性が示された。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	1,900,000	0	1,900,000
2007 年度	250,000	0	250,000
2008 年度	650,000		650,000
年度			
年度			
総計	2,800,000	0	2,800,000

研究分野：特別支援教育

科研費の分科・細目：

キーワード：自閉症 早期教育 仲間

1. 研究開始当初の背景

自閉症スペクトラム障害のある子ども（以下、ASD児）の対人・コミュニケーションの支援方法に関する研究は、これらの能力が飛躍的に発達する幼児期に焦点をあてて行われている。筆者は、従来の大人による直接的な指

導法よりも動機づけが高く、学習した内容の般化に優れている同年代の仲間を介した療育方法 (Peer-Mediated Intervention) の、幼児期の ASD 児への応用とその有効性について明らかにしようとしてきた。

同年代の仲間を仲介とした療育方法には、

仲間に社会的な行動のモデルを提示させ ASD 児の社会的な反応行動を引き出す方法 (English, Shafer, Goldstein & Kaczmarek, 1997) や、仲間が社会的スキルの指導者として ASD 児の社会的行動を積極的に強化する方法 (Odom & Watts, 1991) などがある。しかし、これらの方法の幼児期の ASD 児への適用については確かめられていない。

2. 研究の目的

そこで本研究では、保育園に通う ASD 児を対象に、対人・コミュニケーションの発達支援方法の一つである仲間を介した療育方法 (Peer-Mediated Intervention) を実施し、その効果を検証する。

3. 研究の方法

対象：公立保育園に通う 3～5 歳の ASD 児 6 名と、ASD 児と同じクラスに在籍する定型発達児 (以下、仲間) 18 名。

期間：平成 19 年 4 月～20 年 12 月。

場所：公立保育園 (計 3 園) の教室、ホール、及び運動場。

データ収集：ASD 児と仲間の自由遊び時間の行動を、10 分間を 1 セッションとし、ビデオカメラで撮影した。一事例の実験デザインに基づき、ベースライン期、介入期、般化期、維持期の順に、各期 5～10 セッションを記録した。

手続き：ベースライン期、仲間に ASD 児と関わるよう指示した。介入期、仲間に対人・コミュニケーションスキルを指導し、それらのスキルを使用して ASD 児と関わるよう指示した。仲間からの働きかけがみられない場合は関わりをもつよう励ました。般化期、仲間を励ます頻度を計画的に減らしていった。維持期、ベースライン期と同条件。

データ分析：社会的行動カテゴリーを作成し、記録した行動を時間見本法 (観察法) によりコード化した。ASD 児と仲間の社会的行動の頻度をグラフ化し、介入方法の効果を判定した。

4. 研究成果

仲間の社会的行動の増加に伴い、ASD 児の反応行動だけでなく自発的な社会的行動も増加する傾向がみられた。保育園の自由遊び時間のような比較的制約の少ない環境において、幼児期の ASD 児の仲間との社会的行動を促進する上で、仲間を介した療育方法が有効である可能性が示された。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

竹澤 大史 (TAKEZAWA TAISHI)
愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所教育福祉学部・研究員
研究者番号：80393130

(2) 研究分担者
なし ()
研究者番号：

(3) 連携研究者
なし ()
研究者番号：